

2023
第50回

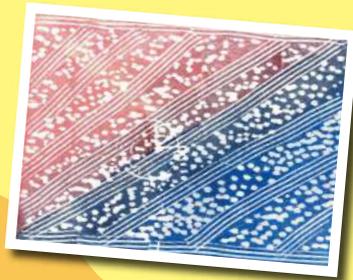
どく い さい

獨医祭

継往開来

～未来への羽ばたき、受け継げ^るの誇り～

テーマ 小児



第8回成恵会音楽部 チャリティー演奏会 in 獨協医大

司会：医療法人 埼玉成恵会病院 呼吸器内科部長 中野 康弘 獨協医大 16期生

挨拶：医療法人 埼玉成恵会病院 院長 長谷川 岳弘 獨協医大 10期生

第1部 支援団体 講演会

NPO法人) ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会代表 (MF CG) 代表理事

ビデオ講演 医師 名知 仁子 氏 獨協医大 10期生

演題 ～人生100歳時代に60歳からの挑戦～

10年後の為したい世界を皆さんと供に創る！

世界が大変なときだからこそ人と繋がり

輝く社会を次代のためにも創る必要があるのではないかと、感じています。



第2部 成恵会音楽部 器楽コンサート

バッハ G線上のアリア

W. A. モーツァルト アイネクライネナハトムジーク 第3楽章

医師 千木良 真保 氏 獨協医大 9期生 医師 久保 仁 氏 獨協医大 17期生



第3部 成恵会音楽部 オペラコンサート

ジュゼッペ・ヴェルディ 椿姫

W. A. モーツァルト フィガロの結婚

W. A. モーツァルト ドン・ジョヴァンニ など

医師 長谷川 岳弘 氏 獨協医大 10期生



2023年10月8日(日) 12:30～14:30

～獨協医科大学 関湊ホール～

主催：成恵会音楽部

共催：獨協医科大学同窓会

獨協医科大学大学祭実行委員会

★埼玉成恵会病院では随時、医師、看護師、コメディカルの募集を行っています。
連絡先：renkei@seikei.or.jp

DOKKYO MEDICAL FESTIVAL



獨医祭本部は、実習棟 1階 145教室にあります。
何かございましたらお気軽にどうぞ。

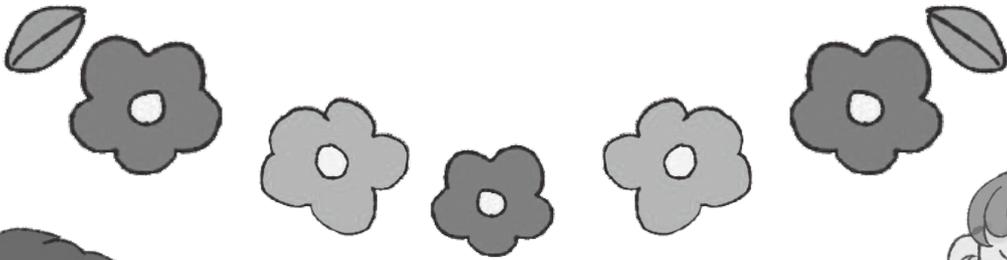
獨協医科大学全景







Welcome!!!



CONTENTS

《案内》

獨協医科大学全景	2
目次	5
タイムテーブル	6
学内見取図	9
教室棟見取図	10
看護学部棟見取図	12
看護専門学校見取図	13
創立 30 周年記念館略図	14
スロープ・エレベーター案内図	15

《あいさつ》

獨協医科大学 学長	18
獨協医科大学 医学部長	19
獨協医科大学 看護学部長／附属看護専門学校長	20
獨協医科大学病院 病院長	21
獨協医科大学大学祭実行委員会 委員長	22
獨協医科大学医学部学友会 委員長	23
獨協医科大学看護学部学友会 委員長	24
獨協医科大学附属看護専門学校杏友会 委員長	25
獨協医科大学桜杏会（医学部父母会）会長	26
獨協医科大学同窓会 会長	27

《本部企画・展示団体》

スケジュール	28
一般参加団体紹介	29

《医学企画》

医学講演	
児童虐待 ～防ぐためにできることは？～ 東野 怜奈先生	46
医学講演	
みんなが知りたいアレルギーの話 ～3人に2人はアレルギー!?!～ 吉原 重美先生	48

《みんなの作品》	50
----------	----

《医学展示企画》	52
----------	----

《看護学部企画体験会》	53
-------------	----

《看護専門学校展示・企画》	54
---------------	----

《学校・病院紹介》	
-----------	--

学校・病院紹介	55
---------	----

《実行委員会より》

学祭委員一覧	63
--------	----

《おわりに》

編集後記	70
------	----

TIME TABLE

Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival

10/7 (土)										
会場	グラウンド	関湊記念ホール	120	203	204	207	看護学部棟	看専	ヘリポート	アリーナ前
9:00										
9:30										
10:00		合唱	軽音楽部 発表	医学部 個別相談	作品展示 (文化部)	医学展示	看護学部 個別相談会 (看護体験)		ドクターヘリ 見学会 (20分前より 受付開始)	
10:30										
11:00										
11:30	管弦									
12:00										
12:30										
13:00										
13:30										
14:00				医学部 個別相談				医療を必要とする小児とその家族が豊かに生活するために		キッチン カー
14:30										
15:00										
15:30							看護学部 個別相談会 (看護体験)			
16:00										
16:30		獨医祭を 地域の人達 と楽しもう (ゲスト：高嶺 のなでこ他)								
17:00										
17:30										
18:00										
18:30	花火									
19:00										
19:30										
20:00										

TIME TABLE

Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival

10/8 (日)

会場	サンルーム	関湊記念ホール	ホワイエ	120	204	206	207	看護学部棟	看専	アリーナ	アリーナ前										
9:00																					
9:30																					
10:00	バザー ともえ牛乳 つぼみレモ ネード 販売	医学講演	ひばり分教室 作品展示	軽音楽部 発表	作品展示 (文化部)	みぶまち 健康大学	医学展示	看護学部棟	看専	アリーナ	アリーナ前										
10:30		児童虐待 ～防ぐためにで きることは?～										医療を必要と する小児と その家族が 豊かに生活 するために									
11:00																					
11:30																					
12:00																					
12:30																					
13:00												名知先生講演 (録画)									
13:30												オペラ									
14:00																					
14:30																					
15:00																					
15:30																					
16:00																					
16:30																					
17:00										チャリティー コンサート											
17:30																					
18:00																					
18:30																					
19:00																					
19:30																					
20:00																					

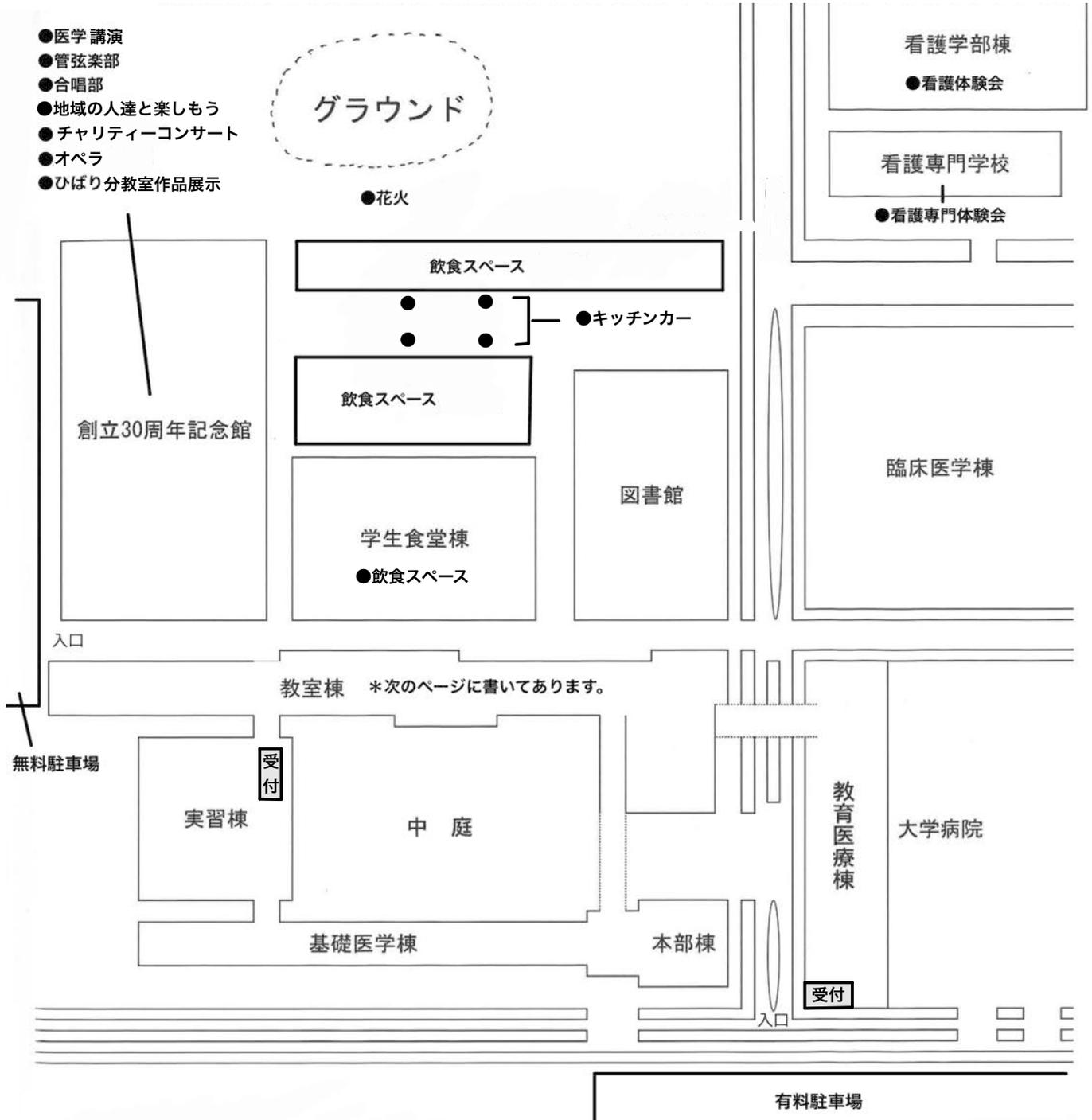
TIME TABLE

Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival

10/9 (月)						
会場	サンルーム	関湊記念ホール	ホワイエ	アリーナ	アリーナ前	
9:00						
9:30						
10:00	バザー ともえ牛乳 つぼみレモ ネード 販売	医学講演	ひばり分教室 作品展示			
10:30		みんなが知りたい アレルギーの話 ～3人に2人は アレルギー!?～				
11:00						
11:30						
12:00						
12:30						
13:00						
13:30						
14:00						キッチンカー
14:30						
15:00						
15:30						
16:00						
16:30						
17:00						
17:30				後夜祭		
18:00						
18:30						
19:00						
19:30						
20:00						

学内見取図

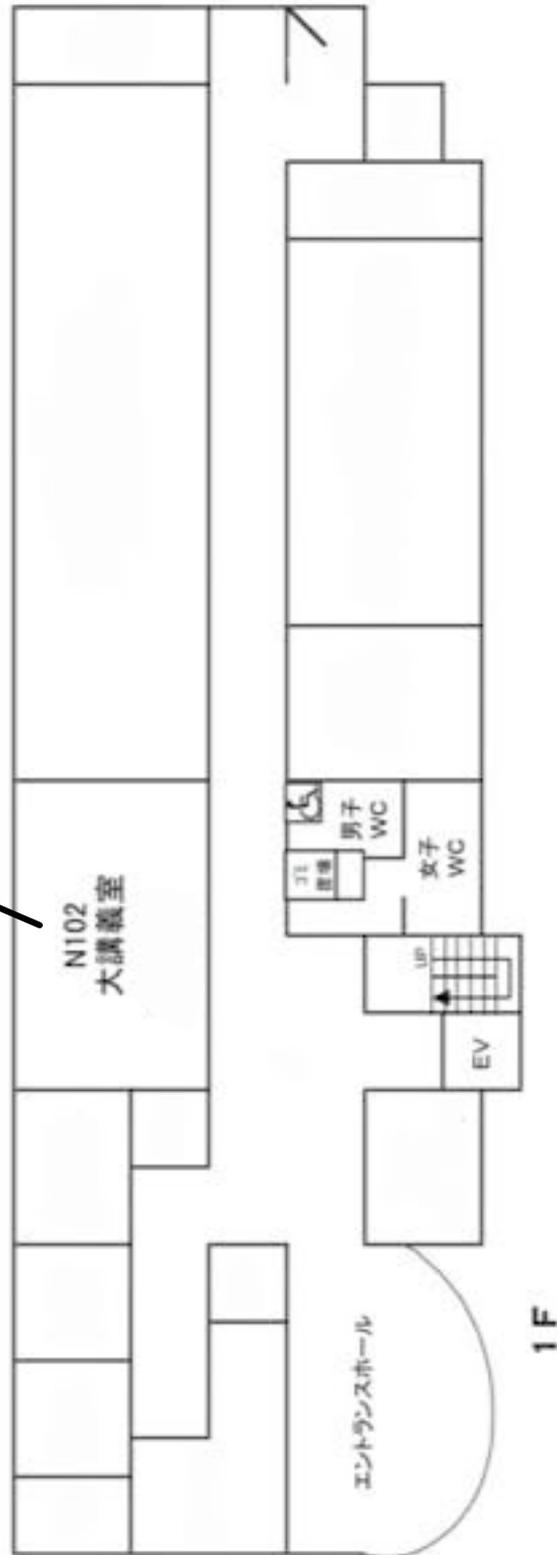
Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival



看護学部棟見取図

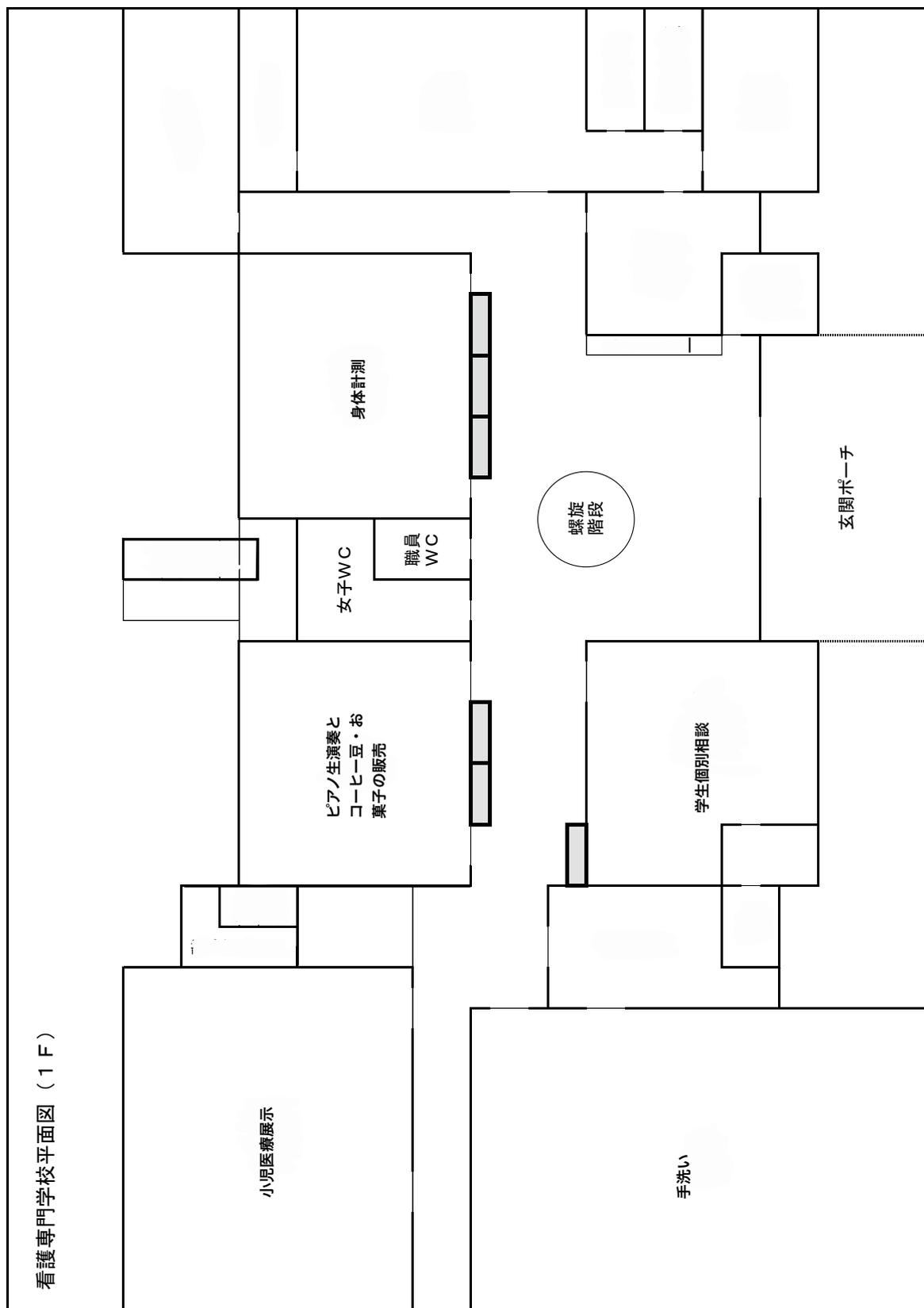
Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival

●地域の人達と楽しもう(落語)



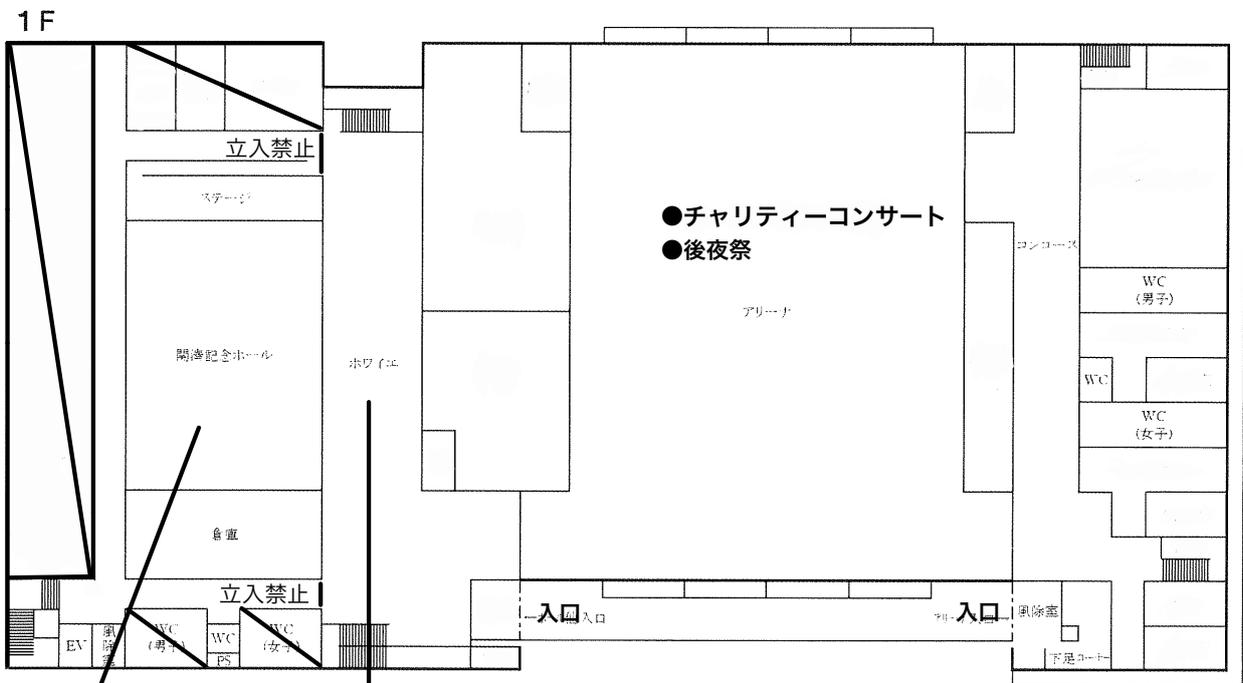
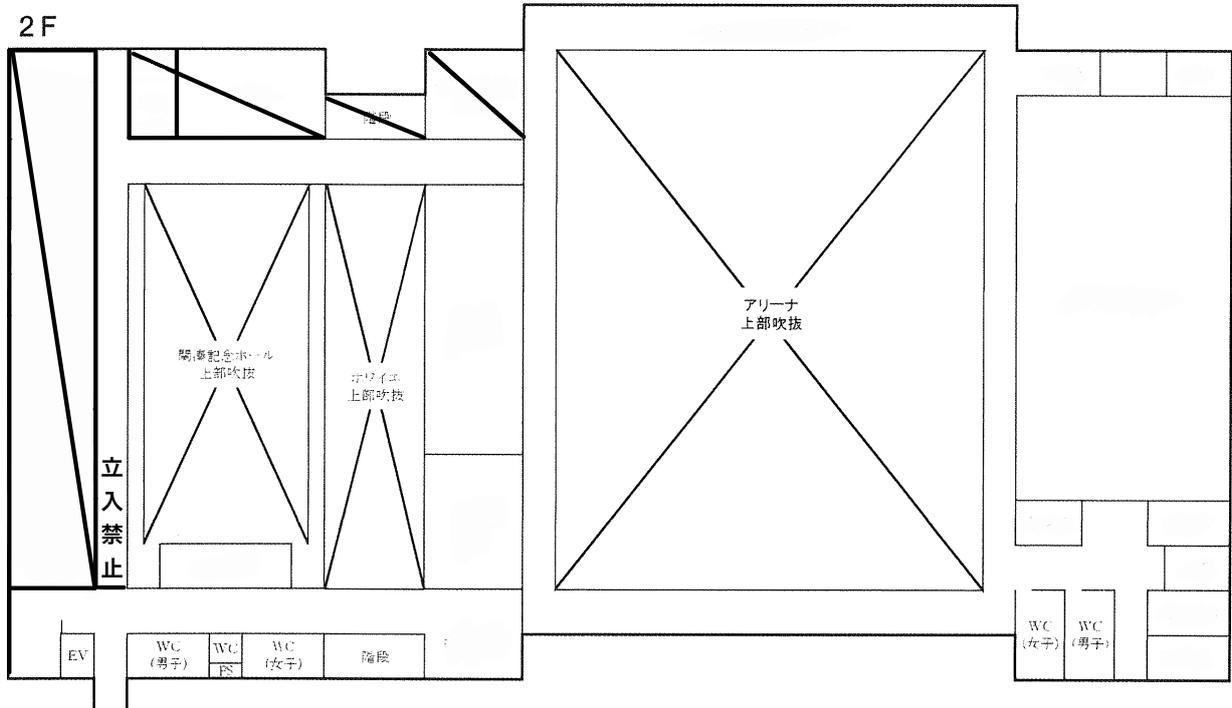
看護専門学校見取図

Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival



創立30周年記念館略図

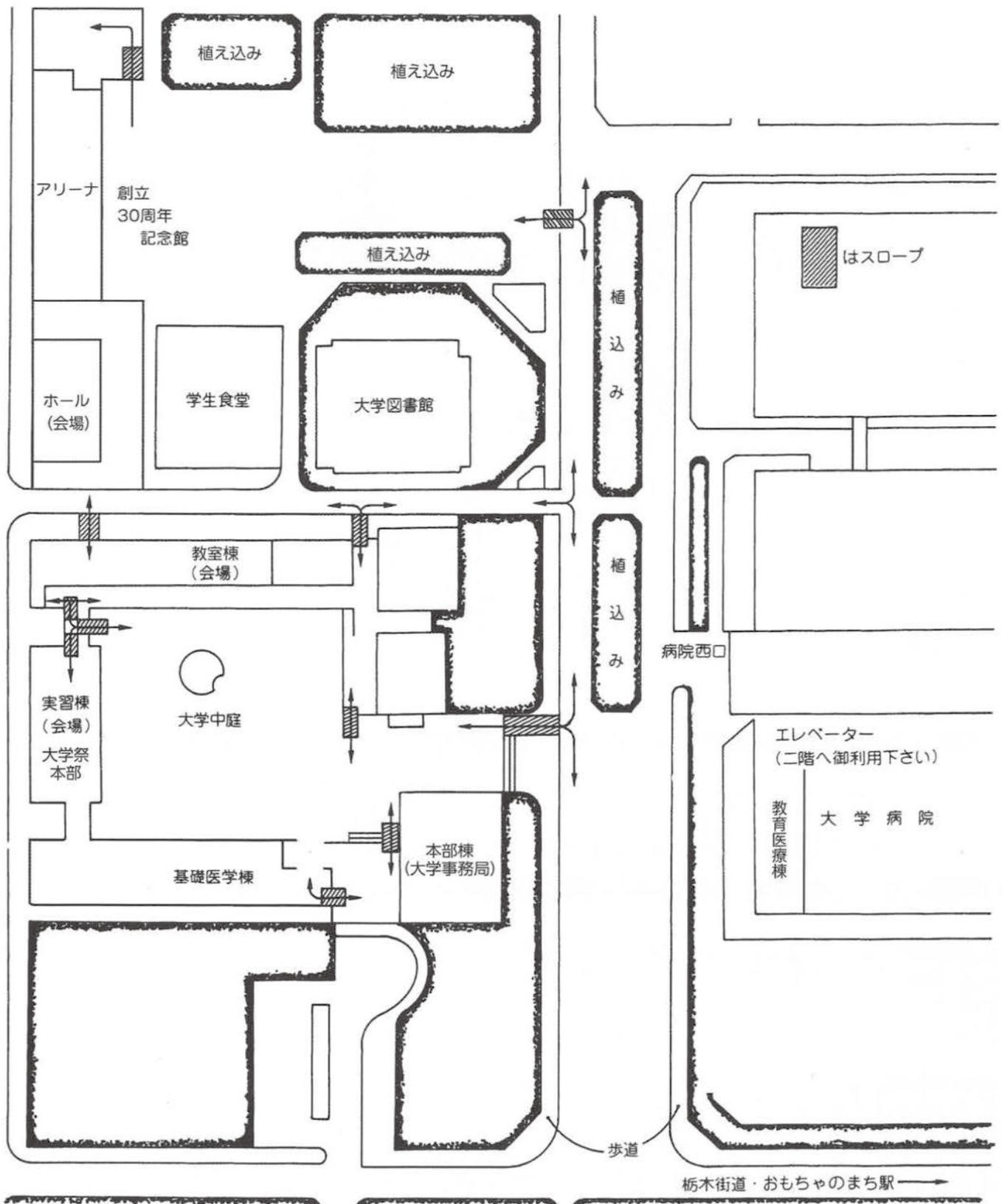
Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival



- 医学講演
- 管弦楽部
- 地域の人達と楽しもう
- オペラ

スロープ・エレベーター案内図

Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival * Dokkyo Medical Festival





第50回 獨匠祭に寄せて



第50回獨協医科大学大学祭に寄せて



獨協医科大学
学長 吉田 謙一郎

令和5（2023）年度第50回獨協医科大学大学祭（獨医祭）の開催おめでとうございます。本学を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本学の銀杏並木が少し色づく秋らしい季節になりました。新型コロナウイルス感染は完全な終息には至ってはおりませんが、壬生の地、獨協医科大学のキャンパスにおいて「第50回獨医祭」を対面で実施できることを、学長として心より嬉しく思っております。学生諸君とその家族や友人、卒業生、教職員、そして地域の方々など、多くの人々が本学のキャンパスに集う中、本学の医科大学としての使命である「教育・研究・診療・社会貢献」を学生の視点から学内外へ発信する良い機会であると思っております。

今年の獨医祭のテーマは統一テーマとして「継往開来、～未来への羽ばたき、受け継ぎの誇り～」、医学テーマは「小児」と言うことです。「継往開来」は、「先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開く」ことを意味します。昨年に続いて立派なテーマを設定して頂きました。昭和48（1973）年に開学した本学は今年で開学50年となりました。本学のルーツである獨逸学協会学校は明治16（1883）年10月22日に開校していますので、開校から140年を迎えることとなります。獨逸学協会学校は戦前において多くの著名な医学者を輩出し、「医学の獨協」と言われた学校でした。その伝統は校旗「獨」で示されています。今回の統一テーマから、皆さんが獨逸学協会学校時代の伝統を受け継ぎ、未来へ羽ばたこうとする強い意欲を感じとることができます。感心しました。また今回は医学テーマとして「小児」と言うアカデミック企画が開催されるとのことで、大勢の皆さまに感銘を与える大学祭になることを願っています。

終わりに、獨医祭を機に、主役である学生の皆さんと、ご参加いただく地域の方々とのコミュニケーションが更に拡がり、参加した多くの皆さんの記憶に残る素晴らしい大学祭となることを願い、学長からの挨拶といたします。

第50回獨協医科大学大学祭 (獨医祭) 開催に添えて



獨協医科大学
医学部長 種市 洋

折しもCOVID-19の感染症法上の取り扱いが5類相当となって初の獨医祭が第50回の記念すべき祭典となりました。第50回獨医祭のテーマは「継往開来」、すなわち、先人の事業を受け継ぎ、発展させて未来を切り開くとしたことは、大学の「NEXT50」～伝統と創造、新たな挑戦～とマッチし、大変素晴らしいテーマだと思います。2019年以来、4年間にわたり猛威を振るった新型コロナウイルス・パンデミックも漸く出口が見え、これからはウィズ・コロナの新たな生活様式へ変換に対応していく必要があります。また、近未来の2040年頃には高齢人口のピークを迎えるわが国は、人口構造の変化、多死社会の到来、医療費の増大など大きな社会構造の変化に直面することになります。さらに今後の情報・科学技術の急速な進歩や新興・再興感染症などを含めた予測困難な時代において「未来を切り開く（開来）」には、医学生の皆さんには「自ら考える力」や力強い「リーダーシップ力」を身につけていかなければなりません。

もうひとつのテーマは未来を切り開く原動力となる「小児」です。私の専門「側弯症」は主に小児脊椎疾患で、変形した脊柱を三次元的に矯正するために様々な技術を応用して治療にあたります。本疾患治療の難しさは矯正した脊柱がさらに成長し、新たな変形を惹起する点にあります。その治療戦略を立てるには脊柱の成長と疾患の進展メカニズムの正しい理解に基づいた治療効果の予測が極めて重要です。「継往開来」の実践には予測しづらい現状を自ら考えしっかり分析し、リーダーシップを発揮していく着実に進めていくことが強く求められます。医療と医学の次世代を背負っていく医学生、獨協医大生の皆さんの未来を切り開く力を大いに期待したいと思います。

あの祭り(獨医祭)を取り戻せ!



獨協医科大学
看護学部長 板倉 朋世
附属看護専門学校長

第50回獨協医科大学獨医祭の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

コロナ前の2019年は東日本を中心に甚大な被害を及ぼした台風19号の影響で中止になり、その後の3年間はコロナの影響を受け、2020年は全面中止、2021年はオンライン開催、2022年はハイブリッド開催と年々開催方法が変更されてきました。全対面での開催を迎えられたこと、心よりお祝いを申し上げます。

従来の獨医祭を知っている学生は看護学部・看護専門学校の中にはいなくなりました。医学部生の方たちもほとんどの学生が獨医祭を知らない世代だと思います。そんな中、今年のテーマは「継往開来」とお聞きしました。先人の事業を受け継ぎ、未来を切り開く。過去のものを継続し、それを発展させながら将来を開拓していくことです。まさに、先輩たちが築いてきた獨協魂を受け継ぎ、これからの未来を切り拓くスタートに相応しい年となるよう、皆さまの活躍を応援しています。

新型コロナウイルス感染の威力に恐れをなしていた3年前に、ニューノーマル・withコロナ・postコロナ、という言葉が使われ始めました。言葉としては理解できても、自分たちの生活がどのように変わっていくのかまではイメージできない時を過ごしてきましたが、今がまさにその時代なのかもしれません。第9波と言われているように、未だ陽性者は後を絶ちませんが、通常の学生生活を送れるようになってきていますね。まさにwithコロナ時代なのでしょう。そう思うと、これまでの3年間で振り返った時、あの時に失われた皆さんの青春時代って何だったんだろうと考えさせられます。貴重な学生時代を、友人との交流や体験できるはずだった思い出作りもできずに、じっと耐える3年間だったのだろうと思うと無念さが伝わってきます。

最近になって、あるプロジェクトについて知りました。

“あの夏を取り戻す”プロジェクトです。このプロジェクトの趣旨には次のようなことが語られています。

「3年前の夏、世界的な新型コロナウイルスの拡大に伴い、戦後初めて全国高等学校野球選手権大会、『夏の甲子園』が突如中止となりました。この瞬間、高校球児にとっての『生きる希望』を失いました。あの瞬間から3年経った今も、言葉にできない無念の思いがどこか胸の奥にあります。そんな思いから、甲子園という大舞台で活躍する機会を失った野球仲間と何か出来ることはないかと、当時の全高校野球チーム計49校、総勢1,000名へ声をかけ、高校球児自ら『あの夏を取り戻す』プロジェクトを開始しました。」

この話を聞いた時、本学の学生の皆さんにもあの祭り(獨医祭)を取り戻してほしいと思いました。5年前の卒業アルバムをめくると、学園祭の写真がたくさん載っています。まさしく、“大学生”なのです。思いっきり楽しんで思い出作りをしてください。青春を楽しむ時間を過ごしてください。

第50回獨協医科大学大学祭（獨医祭） 開催を祝して



獨協医科大学病院
病院長 麻生好正

第50回獨医祭の開催、誠におめでとうございます。実行委員会の皆様においては、開催に至るまで日々努力を重ね、準備されてきたことと思います。獨医祭が無事、開催できますのは、皆様のご尽力の賜物とお慶び申し上げます。また、今年は第50回目の獨医祭になり、まさに記念の祭になりました。

2020年冬に新型コロナウイルス感染症が確認されてから、既に3年半の時間が過ぎました。この間、感染症は収束と再燃を繰り返し、その度、日本の医療は逼迫しました。獨協医科大学病院もその煽りを受け、大変な状況に陥りましたが、職員一丸となり、何度も危機を乗り越えてきました。この5月には、感染症法での分類が2類から5類に変更され、対応は徐々にコロナ前の状況に戻りつつあります。獨医祭も昨年からは以前より小規模ではありましたが、対面での開催になり、今年の第50回はコロナ前と同規模での開催になると期待しております。勿論、感染予防対策を万全にしての開催であることは言うまでもありません。

獨医祭は、趣向を凝らした、多くのイベントやユニークな出し物を外部や地域の皆さんに公開し、そして交流を深めることにより、獨協医科大学そして学生の良さを知ってもらい、ご理解を頂く絶好の機会です。

今回の統一テーマは、「継往開来、～未来への羽ばたき、受け継ぎの誇り～」となっています。第50回に相応しいテーマであり、先輩が綿々と築き上げてきた伝統に感謝し、受け継ぎながら、新たな挑戦により、未来を切り開く、との力強いメッセージです。医学テーマは「小児」とタイムリーな内容です。医学を身近に感じられる企画等が開催され、子どもから大人まで楽しめる内容となっています。私たち職員もとても工夫を凝らした内容に、参加を楽しみしております。また、名物の花火が新型コロナウイルス感染症の終息を宣言するように、輝かしい未来への合図になることを確信しております。

最後になりますが、第50回獨医祭の成功、盛会をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

第50回獨協医科大学大学祭に寄せて



獨協医科大学大学祭実行委員会
委員長 野崎 宇大

爽やかな秋晴れが続く今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年5月、新型コロナウイルス感染症が、これまで2類相当であったものから5類に移行されました。日本国内では、あらゆるものが緩和され、マスクを外している姿も非常に多く見受けられるようになりました。その一方で今夏、第9波が到来したとも言われており、今もまだ新型コロナウイルスの収束が見えない中ではありますが、感染防止対策を講じたうえで、開学50周年という記念すべき年に来場形式で獨医祭が開催できる運びとなりました。

この3年間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により様々な活動が制限され、多くの我慢を強いられてきました。こうした中、獨医祭を対面で開催できることを大変嬉しく思います。獨医祭実行委員会では、皆様が最大限に楽しみ、記憶に残るような獨医祭となるよう準備を進めて参りました。

今年度の獨医祭の統一テーマは『継往開来、～未来への羽ばたき、受け継ぎの誇り～』です。このテーマは、開学50周年を迎えた本学が背景にあり、先輩たちからの伝統を受け継ぎ、かつ、NEXT50に向けて発展させながら新しいことに挑戦し未来を切り開くという意味が込められています。獨医祭実行委員会一同このテーマを胸に一丸となり、獨医祭が開催できる喜びをエネルギーに変え、この一大イベントを通して人と人とのつながりを強固にし、コロナ禍以前の活気を取り戻したいと考えております。

終わりに、第50回獨医祭開催にあたり、ご指導、ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

学友会委員長挨拶



獨協医科大学医学部学友会
委員長 三橋 孝輝

この度第50回獨医祭の開催を大変喜ばしく思うとともに、心よりお祝い申し上げます。また、無事に獨医祭を迎えることができたことに感謝し、開催にあたってご尽力いただきました学校関係者の方々並びに近隣住民の皆様のご協力に、心より御礼申し上げます。

今年で新型コロナウイルス感染の拡大から4年ほどが経過しました。ワクチンが開発されたり、今春には感染症法における分類が第5類に引き下げられたりなど当初よりは規制等が緩和されてきたものの、現在においても私たちの日常に様々な被害が及ぼされています。そのような状況の中でも、5年ぶりとなる学生総会の実施や不自由のない部活動の通常化など、感染対策を入念に行いながら、少しでも新型コロナウイルス感染の拡大以前の学生生活を取り戻そうと、今できることに全力を注いでまいりました。

今年度の獨医祭は「継往開来、～未来への羽ばたき、受け継げ²⁰の誇り～」という統一テーマのもと大学が一丸となり、今まで先輩方が作り上げてきたものを十分に受け継ぎ、新型コロナウイルス感染の拡大以前よりも良いものとするので、獨協医科大学および地域全体を盛り上げることができるようにと考え、開催することとなりました。現在もコロナ禍ではありますが、私たちがいつまでも負けたままではいけない。これから先の未来のためにも、日常を取り戻すため、活力として笑顔、元気、情熱を学内のみならず、近隣にお住いの方々にも届けることができると考えております。昨年度の獨医祭は残念ながら規模を縮小しての開催となってしまいましたが、今年度こそは獨医祭を通して壬生町をはじめとする地域の発展に繋がれば幸いです。私たち学生も、この獨医祭で得られる経験を仲間とともに分かち合い、未来に繋げていければと思います。

最後になりますが、獨医祭実行委員会の方々におかれましては医学部、看護学部、看護専門学校の協力体制のもと、長きに渡り準備を進めてくださったことを心より感謝申し上げます。皆様の努力の集大成がこの第50回獨医祭の開催へと繋がったことを心に留め、獨医祭の成功と今後の益々の発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。

第50回獨協医科大学大学祭に寄せて



獨協医科大学看護学部学友会
委員長 金田 聖太

秋気心地よい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

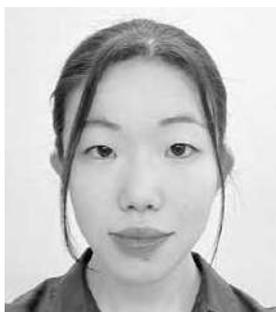
第50回獨協医科大学大学祭の開催を心よりお祝い申し上げます。昨年に引き続き、今年も獨医祭を迎えることができ、大変喜ばしく思います。加えて、今回の開催にあたりご尽力くださった関係者の方々に深く感謝申し上げます。

今回のテーマは、「継往開来、～未来への羽ばたき、受け継げ²⁰の誇り～」です。新型コロナウイルスの警戒度も下がり、流行前の生活が徐々にではあるものの戻りつつあります。今年度は、新型コロナウイルスによる影響は続いているものの、昨年に引き続きコロナ禍以前の獨医祭に近づけた形で行うことができるよう企画していただきました。継往開来、このテーマの通り、一昨年よりも、そして昨年よりも、コロナ禍以前の獨医祭を取り戻していき、先輩方が残してくださった歴史や伝統を皆一丸となって受け継ぎ、コロナウイルスに屈せず獨医祭を作り上げ盛り上げていきたいものです。そして、²⁰の誇りを受け継ぎつつ、長年新型コロナウイルスと戦い、多くの制限の下生活してきた私たちならではの獨医祭を作り上げることが大切だとも私は考えました。

新型コロナウイルスによる制限も緩和されましたが、未だ窮屈に感じられる部分が多くあります。皆様も、やるせなく、心苦しく感じられることもあったかと思います。感染対策は十分に行いながら、ぜひ、今年の獨医祭を皆様の交流を広げ、伝統を受け継ぐ実りある機会としていただけたらと思います。

最後になりますが、今回の運営・企画を長期にわたり行ってくださった獨医祭実行委員会の皆様、並びにご協力いただいた全ての関係者の方々に心から感謝申し上げます。獨医祭の成功と今後益々の発展を祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

第50回獨協医科大学大学祭に寄せて



獨協医科大学附属看護専門学校杏友会
委員長 伊藤 希

第50回獨協医科大学大学祭が開催されますこと、大変嬉しく思うと共に心よりお祝い申し上げます。そして今回の開催に向けご尽力くださった全ての方々に、深謝申し上げます。

新型コロナウイルスが身近にある新しい生活様式にも慣れ、看護専門学校をはじめ獨協医科大学全体で、異学年交流ができる状況になりました。また、地域の方々と交流できる機会も少しずつ増え、流行前にあった活気溢れる日常を日々取り戻しつつあります。

今年度の獨医祭統一テーマは「継往開来、～未来への羽ばたき、受け継げの誇り～」です。そして、医学テーマは「小児」です。子どもにとって笑うことは、心と身体の成長に良い影響をもたらします。そして、子どもたちの笑顔は周囲の人々を幸せにします。コロナ禍では人との接触を最小限にしていたことから、実際の表情と声で笑いあう機会が減少しました。そこで今回の獨医祭におきまして、看護専門学校だけではなく医学部や看護学部、地域の人々が笑いあい、心から楽しめるような大学祭にしたいと考えました。獨医祭実行委員と杏友会役員を中心に、一人一人が役割を持ち全校生徒が団結して、企画・準備を進めてまいりました。

現在も感染予防策として、マスクの着用やソーシャルディスタンス、手指消毒を大切にしています。準備期間は、感染対策を実施しながらも地域の方々や私たち自身、そして子どもたちにとって有意義な獨医祭になるよう考えました。また、今年度は企画準備や実施を縦割り班で行い、活発な異学年交流を通して互いの知見を深め、全員が役割を得ることで現状の中で出来る最大限を尽くそうという共通認識を持つことができ、より一層獨医祭に対しての意欲をかき立てられました。

最後になりますが、今回の獨医祭開催にあたりまして、企画・運営をご担当くださいました獨医祭実行委員をはじめとする関係者の方々に感謝の意を表し、第50回獨協医科大学大学祭が、私たち学生にとっても、地域住民の方々にとっても、獨協医科大学の輝かしい歴史の一環として思いだしていただけるような開催となることを心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

第50回獨医祭に寄せて



獨協医科大学桜杏会（医学部父母会）
会 長 大 垣 霧 笛

爽やかな秋風が吹きわたり、本学の環境的シンボルであります銀杏並木も色づきはじめたこの季節に、第50回獨医祭が無事開催されることを大変喜ばしく思います。

このコロナ禍におきましては、卒業式、入学式、講義、実習、クラブ活動等全てにおいて甚大な影響が生じ、それに伴い学生同士の人間的な繋がりも希薄になってしまったと伺っております。

日々の厳しいカリキュラムに追われる学生生活の中で、全国からの友人との絆を実感し青春のかけがえのない1ページとなるはずの大学祭が台風での中止に始まり、新型コロナウイルス感染症による様々な制約の中、思うような開催ができずに桜杏会といたしましても残念であり無念の思いでありました。

しかしながら、未だに新型コロナウイルス感染症も予断を許さない状況ではありますが、今年、念願の全面的な対面開催が叶います。医科大学であり大学病院を擁する本学でありますことから当然感染防止策とセットとなりますが、多くの学生とその家族、友人や教職員、そして地域に暮らす方々が、このキャンパスに集い、久しぶりに祭りの賑わいを共有し笑顔あふれる素晴らしい時間と空間となることを願っております。

開催にあたり実行委員の学生さんは、ほぼ初めての通常通りの獨医祭になると思われませんが、あまりノウハウのない中で新たな課題が次々と現れては、それらに迅速かつ丁寧に対応する必要に迫られた事と思います。皆さんの企画立案力、実行力が試される貴重なチャンスであり試練だったとも思います。この困難を学業と両立し見事に成功に導くことは、将来人間として医療人として大きな礎になる事でしょう。

今年のテーマは「継往開来・・・」と聞いておりますが学生の皆さん、先輩たちの創った伝統と魂の誇りを受け継ぎ心の底から楽しんでください。

最後になりますが獨医祭実行委員会の皆さん、そして吉田学長先生をはじめ、ご指導、ご支援いただいたすべての教職員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

学園祭に向けて



獨協医科大学同窓会
会長 千木良真保

ここ数年獨医祭は、天候不順や新型コロナウイルス感染症の蔓延のために中止や縮小を余儀なくされてきました。本学開校50周年目となる節目の年に、満を辞して獨医祭が開催となる事を心よりお祝い申し上げます。

今年の統一テーマは‘継往開来、～未来への羽ばたき、受け継げ^ての誇り～’と伺いました。この継往開来という言葉は、先人の仕事を受け継ぎ、それをさらに大きく発展させながら未来を切り開いていくという意味だそうです。本学の素晴らしい後輩が、先輩達の仕事を評価し、それを礎に未来に向かっていこうとしている気持ちにとっても心を打たれました。

学内にある水原秋桜子の句碑の一つ「礎はゆるがず雲雀あがりけり」があります。著名な医学者を多数輩出した獨逸学協会学校を卒業された水原秋桜子ですが、その獨逸学協会学校を土台として羽ばたいていきなさいという意味が伺えます。すでに獨協医科大学も創立50周年を迎え、日本だけではなく世界中で活躍している同窓生が沢山います。活躍の場は学問の場だけではなく、僻地地域医療や医師会など様々です。獨逸学協会学校から獨協学園の獨協医科大学と、その大きな土台から未来に向かって在校生の皆様が大きく羽ばたいていけるように、獨協医科大学同窓会も全力で在校生の皆様と獨医祭を応援いたします。

最後になりましたが、獨医祭の無事の成功をお祈りいたします。今しか出来ない事を力一杯楽しんで下さい！

本部企画・展示団体

7日 ㊥

ドクターヘリ	9:00～
看護体験会	9:30～
作品展示(文化部)	10:00～
医学部個別相談	10:00～
軽音楽部	10:00～
合唱部	10:00～
管弦楽部	11:30～
看護専門学校企画	13:00～
獨医祭を地域の 人達と楽しもう (ゲスト：高嶺のなでしこ他)	16:30～
花火	18:30～

9日 ㊦

医学講演②	10:00～
みんなが知りたいアレルギーの話 ～3人に2人はアレルギー!～ 吉原 重美先生	
バザー・ともえ牛乳販売	10:00～
ひばり分教室作品展示	10:00～
後夜祭 (SDA発表 獨協医科大学のどじまん)	15:30～

8日 ㊧

医学講演①	10:00～
児童虐待 ～防ぐためにできることは?～ 東野 怜奈先生	
みぶまち健康大学	10:00～
看護専門学校企画	10:00～
作品展示(文化部)	10:00～
バザー・ともえ牛乳販売	10:00～
軽音楽部	10:00～
ひばり分教室作品展示	10:00～
獨医祭を地域の 人達と楽しもう(落語)	11:30～
名知先生講演(録画) オペラ	12:30～
チャリティーコンサート (ゲスト：moumoon)	17:00～



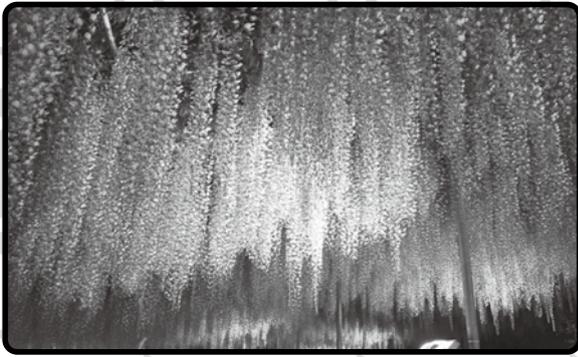
一般参加団体



美術部



書道部



写真部

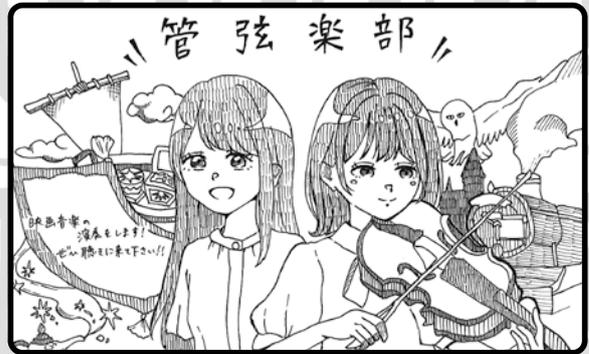


ME部
展示やります。
素敵な獨医祭の
思い出をあなたに。

ME部



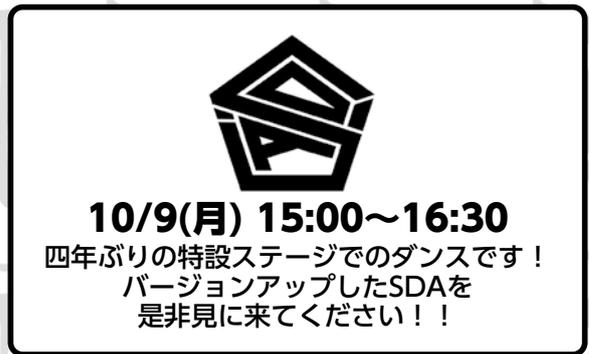
軽音楽部



管弦楽部



合唱部



SDA

第50回

獨医祭 落語

マジンダマ

桂南海

小南

蝶の汐

2023年

10月8日(日)

入場無料!
申込不要!
先着100名

時間 11時30分~12時50分

場所 獨協医科大学 看護学部棟 N102

問い合わせ

獨協医科大学 獨医祭実行委員会室

MAIL : dokusai1974@gmail.com

T E L : 0282-86-1140 (平日:17時~19時 休日:12時~18時)

医療法人登会

茂呂歯科医院

理事長 茂呂英運

歯科医師 茂呂 兀

歯科医師 茂呂尚紀

鹿沼本院 鹿沼市仲町1 5 9 5 TEL (0289)65-2545~7
宇都宮分院 宇都宮市戸祭1-7-10 TEL (028)624-5180

 医療法人聖真友愛会

友井内科クリニック

院長 塚田錦治

栃木県小山市駅東通り1-3-3
小山東口駅前

TEL 0285-30-1111

友井皮膚科クリニック

院長 塚田篤子

栃木県小山市城山町3-2-17
小山西口駅前

TEL 0285-22-8880

特定医療法人福田会

理事長 福田 晴美

福田記念病院

真岡市並木町3-10-6 TEL 0285-84-1171

鬼怒ヶ丘クリニック

真岡市上大沼127-1 TEL 0285-84-1124

福田記念病院 健診部

鬼怒ヶ丘クリニック2F TEL 0285-84-7765

大垣歯科医院

〒320-0065 栃木県宇都宮市駒生町1556-8

TEL(028)652-6767



宇都宮 **腎・内科** **皮膚科** クリニック

50th 獨医祭開催 おめでとうございます

26期卒 中野信行
28期卒 中野敦子

ソフトテニス部 頑張れ!



祝 獨医祭

獨協医科大学桜杏会 (医学部父母会)

会長 大垣霧笛



〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町北小林880

TEL 0282(86)4222

FAX 0282(86)4233

e-mail okyo@dokkyomed.ac.jp

あおば医院



院長 千木良 眞保

内科・小児科・皮膚科

同窓会へのご参加お待ちしております。

■東京都目黒区東山1-1-2 東山ビル2階

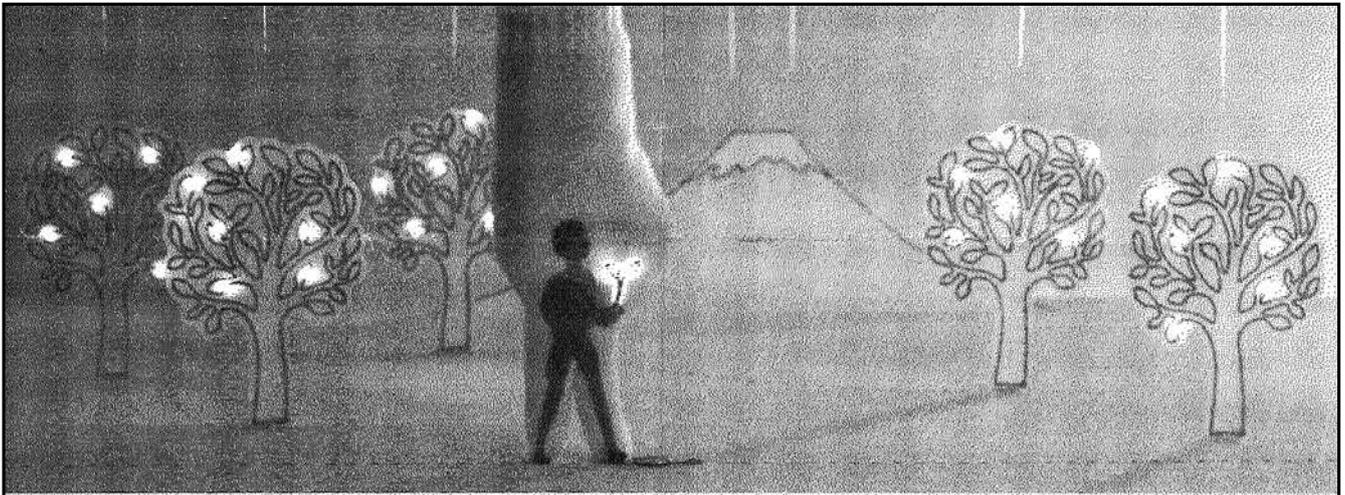
■TEL : 03-3711-7785

■FAX : 03-3711-7819

時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
09:00 ~ 13:00	○	○	○	—	○	○	—	—
14:00 ~ 18:00	○	○	○	—	○	—	—	—
14:00 ~ 16:00	—	—	—	—	—	○	—	—

休診日について
木曜日・日曜日・祝日





私たちがつなぐもの

それは、だれかの安心、だれかの笑顔、だれかの願いだから、
あたりまえの日常を、ささえつづけるために
つなごう、想いを、明日を。

ひとりひとりが、未来を灯す。

KAN DEN KO

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 三得利ビル5F <http://www.kandenko.com/>

SUNTORY

SUNTORY BEVERAGE SOLUTION LIMITED

サントリービバレッジソリューション株式会社



造園設計・施工・管理

栗津造園株式会社

代表取締役 栗津 義久

本社 〒157-0068 東京都世田谷区宇奈根 1丁目21番5号
電話 03(3417)9117
栃木事務所 壬生獨協医科大学内
電話 0282(86)1826

獨医祭 バンザーイ!

★明るい豊かなくらしといのちを守ってくれてありがとう。
★学生の皆さん!英知と勇気と情熱をもって医学の未来に
向かって大いに翔いて下さい。期待しています。

- 懇親会・会合・一次会・二次会等に御利用下さい!
- 営業時間: PM5:00~AM1:00迄
- 貸し切り、飲み放題、電話予約、カード払いOK。
(16名以上) (2~3時間)

カラオケ
あります



『居酒屋』ポン吉・ポン子
おもちゃのまち駅前 (西口徒歩1分)  有り(集客35名位)
TEL.0282-86-0098



『ダイニング』ポン太
おもちゃのまち駅前 (東口徒歩1分)  有り(集客40名位)
TEL.0282-86-6777

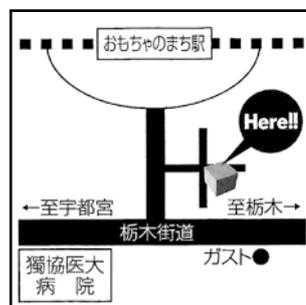


----- Chinese Taste YAMATO -----

大・小宴会、貸切パーティ等承ります

[営業時間] _____
 AM11:00~PM2:00
 PM5:30~PM9:30
 [定休日] _____
 毎週木曜定休

中国料理 **大和**
 〒321-0204
 栃木県下都賀郡壬生町緑町1-17-4
 Tel&Fax.0282-86-0940



24時間年中無休のフィットネスジム



エニタイムフィットネス おもちゃのまち店



最新・最高峰のゴルフシミュレーター導入。
 ラグジュアリーなプライベート空間でゴルフに没頭できる。

完全個室の会員制インドアゴルフ場
LOUNGE RANGE 小山

「無料体験」予約受付中! ラウンジレンジ 小山

救急告示病院 消化器科・外科・整形外科・皮膚科
リハビリテーション科・内科・循環器科・訪問診療

柴 病 院

(医) 康積会 理事長・院長 柴 美佳子
宇都宮市竹林町504番地 ☎ (028) 621-8211(代)

内科・消化器内科

小 嶋 内 科

医師 小嶋 和夫

宇都宮市京町5番22号 TEL 028-636-5911



内科・腎臓内科・人工透析内科

医療法人 奥田クリニック
開生会

院長 透析専門医 奥田康輔

〒321-0964 宇都宮市駅前通り2-2-11
TEL 028(635)0310 FAX 028(632)9073
<http://www.okudacl.com>

石田消化器科・内科クリニック

院長 石田 基雄

栃木県下都賀郡壬生町壬生丁六美259-7

電 話 0282(82)7877

F A X 0282(82)8868

しろやま眼科

院長 城山 力一

下都賀郡壬生町おもちゃのまち1-9-13 TEL 0282-86-3271



石崎眼科

DATA

診療時間	月	火	水	木	金	土
AM9:00~12:00	○	○	○		○	○
PM2:00~5:30	○	○	○		○	

木・日曜・祝日 休診

壬生町通町7-18

☎ 0282-81-0112





くれクリニック



石井外科医院

院長 石井 裕二 (S63卒) ラグビー一部出身

医療法人社団 雄昂会

院長 谷田貝 茂雄
医学博士

 やたがいクリニック

副院長 谷田貝 昂
医学博士

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-20-6 E-mail clinic@yatagai.net
電話 03-5850-6166 FAX 03-5850-6167 http://www.yatagai.net

花火打上は当店に!!

トキワ屋

☎ 0282-86-2525

祝! 第50回獨医祭

医学・看護学書 株式会社 廣川書店
専門販売

テキスト・国試対策・臨床系書籍から電子辞書・電子書籍まで。
医学・看護・医療系書籍を多数取り揃えております。

獨協医大店 TEL:0282-86-2960 獨協医大内(教室棟1Fロッカー隣)

外 商 部 TEL:0282-86-2847 FAX:0282-86-5562 (壬生町緑町) hirokawa@galaxy.ocn.ne.jp



獨医祭 開催おめでとうございます!



宇都宮東武ホテル

グランデ

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町5-12 TEL.028-627-0111
https://www.tobuhotel.co.jp/utsunomiya



株式会社 マロニエ写真館

卒業アルバム制作、
国家試験・その他証明写真、ドローン撮影も！

TEL: 0282-82-2872 <https://maronie-studio.jimdo.com/>



大小御宴会・御食事

十四代・亀の翁など各種日本酒・焼酎もとりそろえております。

日本料理 篠

営業時間 11:30~1:30 5:00~9:00
おもちゃのまち 陸橋東 82-3870



タイヤ館

おもちゃのまち TEL.0282-81-1500
壬生町寿町70-21

【営業時間】朝10:00~夜19:00 ●定休日/無休(季節休業、臨時休業あり)

オイル、バッテリー、ワイパー、各種用品取り扱い
獨協関係者歓迎 タイヤ保管・車検承ります。



大小宴会 承ります

和食の店 ふじた

栃木県下都賀郡壬生町幸町3-32-4 TEL0282(86)0616・3985

免許の
ことなら

壬生自動車学校

普通車・準中型車・中型車・普自二輪・大自二輪

自動車
ドローン

☎ 0120-76-3115



タリーズコーヒー獨協医科大学病院店

住所 栃木県下都賀郡 壬生町大字北小林880 獨協医科大学病院アメニティ棟 2F

営業時間 平日 7:50~19:00

土曜 7:50~18:00

店休日 第三土曜、日祝

獨協医科大学同窓会 東京支部会

国家試験期間中は
「医療サポートチーム」を組んで、
皆さんの健康を守ります
東京支部会のおじさん、おばさんが
皆さんをお待ちしております
安心して東京にお越しください！

会長 森 一博（一期卒）



医療法人八千代会 八千代病院

内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・肛門科・外科・禁煙外来・訪問診療

院長 高崎 圭司 副院長 岡本 慎吾

〒300-3551 茨城県結城郡八千代町栗山 238 TEL:0296-48-1181 <https://yachiyo-mc.jp>

獨協医科大学在校生の皆さんへ

大学祭の再開催、バンザーイ!!

我々OB・OGも嬉しいです。活気に満ちて盛況な獨医祭でありますことを願います。

さて、神奈川県にゆかりのある方々は、医師になられた暁には、是非神奈川県支部会にご登録下さい。

総会でお会いできることを楽しみにお待ちしております。

支部会長 川名明德(5期)、事務局長 渡邊直人(10期)、その他幹事一同



獨協医科大学同窓会 埼玉支部

医療法人 裕 智 会
大橋内科クリニック
院長 大橋 裕 二
〒321-0219 下都賀郡壬生町福和田1003-1
TEL 0282-82-8522

医療法人 関湊記念会
グリーンクリニック
栃木県下都賀郡壬生町緑町3-9-15
院長 黒田 久元

栃木リウマチ科クリニック
院長 篠原 聡
栃木県宇都宮市駅前通り1-1-9 駅前通り第一ビル3F
TEL:028-615-7700
<http://tochigi-riumachi.b.la9.jp/>

 医療法人社団 都丸整形外科
理事長 都丸高志
〒329-0507 栃木県下野市文教1丁目11-16 TEL 0285-52-1010
短期入所療養介護 * 居宅介護支援事業所 * 通所リハビリテーション **リハノバ**
(TEL 0285-52-1350) (TEL 0285-52-1355)



小山市駅東通り セブン&アイ(旧イトーヨーカドー)前

柏木 耳鼻科

◎受付時間 AM9:00~12:00 PM2:00~6:00 (土曜日 5:30まで)

◎休診日 日曜・祝日・木曜・第2土曜日午後

〒323-0022 小山市駅東通り2-18-18 ☎(0285)25-2933



高橋とおるクリニック

〒321-0212 栃木県下都賀郡壬生町寿町5-3
TEL.0282-25-5881 FAX.0282-82-6009

TAKAHASHI TORU CLINIC

手作りの味!! あったか~いお弁当

ほかほか弁当 おもちゃのまち店



営業時間 AM9:30~PM7:50

☎0282-86-3288
壬生町緑町2-2-6



Yakult1000

機能性表示食品

ストレスの緩和

睡眠の質向上

+乳酸菌 シロタ株の機能で

腸内環境改善

Yakult 宇都宮ヤクルト販売株式会社

宇都宮市瑞穂3-9-8

フリーダイヤル ☎0120-02-8961



CoCo 壱番屋

● 栃木おもちゃの町店 ●

〒321-0205 栃木県下都賀郡壬生町若草町624-1
TEL&FAX 0282-86-5865

快適ライフのサポーター

セブン・イレブン

壬生安塚店

☎0282(86)6780

24時間
いつでもあなたを
まっています!

創業昭和5年

田代 武道具店

宇都宮東塙田1-1-7
TEL028-622-6767 FAX028-625-2735

御食事処 海舟

大小宴会承ります

〒329-0502 栃木県下野市下古山2328-15
TEL 0285-53-7686

ESG マネージメントグループ

メッドトラストESG 株式会社

医療廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬

〒322-0026 栃木県鹿沼市茂呂659番地19

TEL0289-72-1001 fax0289-72-1008

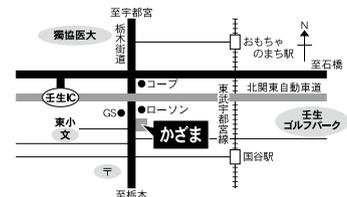
<https://med.esgm-group.jp/>

かざま

壬生町至宝2-26-1
tel 0282-83-0468

定休 水曜日

営業時間 昼11:30~14:00
夜17:00~22:00



とちぎの未来へ、あなたとともに。

栃木トヨタ 壬生店

下都賀郡壬生町落合1-15-4

☎0282-82-7811

店舗ブログ更新中



営業時間 9:00~最終受付17:00

詳細は当店HPをぜひご覧ください。

獨協医科大学同窓会宮城支部

「獨医伊達の会」

支部長 吉田 仁秋 (3期卒)



- 人間ドック
- 定期健康診断
- 生活習慣病予防健康診断
- 労働安全衛生法健康診断

FUKUI Central Clinic

医療法人社団智栄会

福井セントラルクリニック

〒321-0202

下都賀郡壬生町おもちゃのまち2-4-8

TEL 0282-86-6624 FAX 0282-86-6625

ホームページ <http://www.fukui-cc.jp/>

メールアドレス fcc@globe.ocn.ne.jp

最先端のマネジメントで、
都市空間の快適をプロデュース

東武ビルマネジメント株式会社

本社 〒131-8550 東京都墨田区押上2-12-7

セトル中之郷1F

TEL:03-3623-2194(代表) FAX:03-3623-4141

ホームページ <http://www.tobu-bm.co.jp>



医学企画





〈講演者紹介〉

獨協医科大学病院
地域連携・患者サポートセンター
医療福祉相談部門
主任 医療ソーシャルワーカー

東野 怜奈

ひがしの れな

略歴

1999年 3月 文教大学文学部 卒業
2004年 3月 日本社会事業学校研究科 卒業
2004年 4月 獨協医科大学病院 入職 現在に至る

(資格)

社会福祉士
精神保健福祉士
認定医療ソーシャルワーカー
認定社会福祉士(医療)
救急認定ソーシャルワーカー

(所属学会)

日本医療ソーシャルワーカー協会
日本社会福祉士会
栃木県医療社会福祉事業協会
栃木県社会福祉士会
栃木県小児保健会

児童虐待

～防ぐためにできることは?～

少子化、核家族化等、子どもを取り巻く環境は時代の変化と共に刻々と変化しています。子育て世代の共働きが増え、「ワーママ」「イクメン」「ワンオペ」の言葉も定着してきました。各家庭がさまざまな生活状況の中で、必死に子育てしている様子がSNS等でも散見されます。

しかし残念なことに、子どもに対する虐待報告は右肩上がりが増えていきます。TVや新聞報道で子どもに対する虐待が取り上げられると、子どもに対してなぜ親は虐待するのか?と疑問に思う方も多いのではないのでしょうか。

子どもも親も、日々試行錯誤しながら成長しています。その中で、どうしても対処に困ることや苛々してしまうこともあります。その時に、子どもや親が困り感を言える相手や場があるか、支える場があることを知っているかが、息抜きやガス抜きに繋がります。ただ、相談先の情報を持っていない方や、相談できる場にアプローチできる手段を持っていない方、相談する余力がない状態の方もいます。実際に困り果てている方は、誰にも相談できない状況に陥っていることもあります。

子どものための支援は、社会全体で子どもの育ちを見守り、皆で支え合う環境があってこそです。親が孤立しないために、子どもの安全や権利が守られるために、わたしたちには何ができるのでしょうか。今回の講演が皆で一緒に考える機会になればと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。



〈講演者紹介〉

獨協医科大学
小児科学
教授

吉原 重美

よしはら しげみ

略歴

- 1977年 栃木県立宇都宮高等学校卒業
- 1983年 獨協医科大学医学部医学科卒業
- 1983年 同大学小児科学教室入局
- 1987年 静岡県立大学薬学部(矢内原研究室)国内留学
- 1989年 獨協医科大学医学系大学院修了／医学博士
- 1989年 同大学医学部助手
- 1990年 同大学医学部講師
- 1993年 カルフォルニア大学サンフランシスコ校(Jay.A.Nade研究室)海外留学
- 2004年 獨協医科大学医学部小児科学 准教授
- 2017年～ 同大学医学部小児科学教室 主任教授
同大学病院とちぎ子ども医療センター長
- 2018年～ 同大学病院アレルギーセンター長
- 2020年～ 同大学病院副院長
- 2021年～ 日本小児アレルギー学会理事長

みんなが知りたいアレルギーの話

～3人に2人はアレルギー!?!～

皆様、こんにちは。

私は、栃木県アレルギー疾患医療拠点病院、獨協医科大学病院アレルギーセンター長の吉原重美です。今回は、「みんなに知ってほしいアレルギーの話」ということで、最近増加傾向にあるアレルギー疾患について、お話できればと思います。

都道府県のアレルギー疾患医療拠点病院に勤務する方、その家族について調査をしたところ、なんと、62.2%の方、つまり、3人に2人がなんらかのアレルギー疾患があることがわかりました。

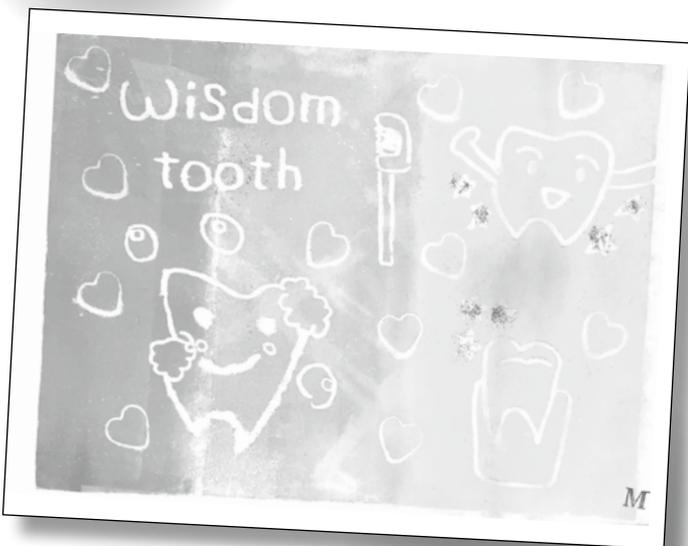
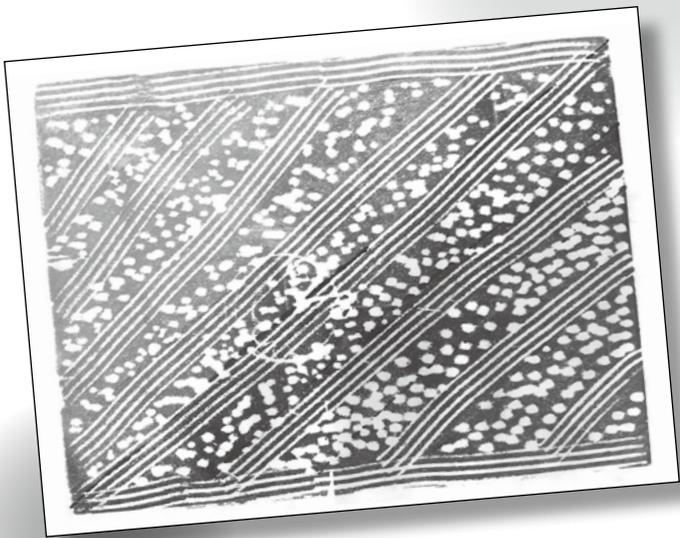
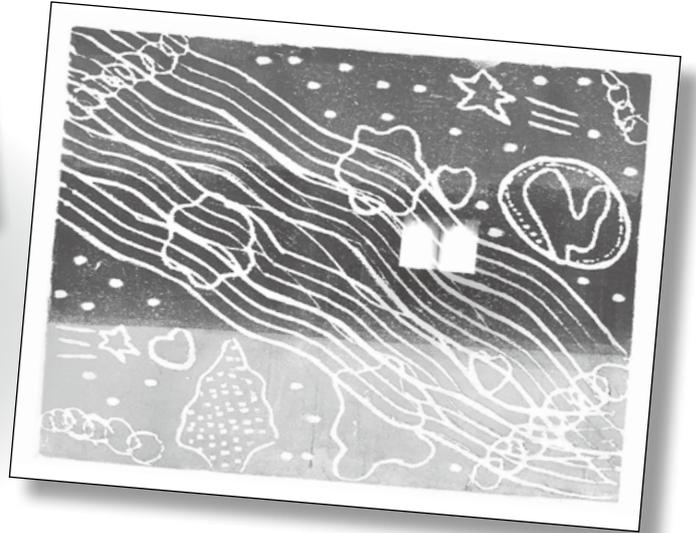
アレルギー疾患の種類ですけれども、代表的なものとして、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アレルギー性結膜炎、花粉症、アレルギー性鼻炎などがあります。そのほかにも、金属アレルギーやラテックス、すなわち天然ゴムのアレルギー、薬剤アレルギーなどもあります。

生まれてきたお子さんのアレルギー疾患の発症しやすさは、両親、兄弟、姉妹になんらかのアレルギー疾患がある場合、つまり遺伝的な要因が関係します。このような子どもさんは、乳児期の繰り返す痒みを伴う湿疹であるアトピー性皮膚炎を発症します。それにより食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎など、様々なアレルギー疾患を次々と併発する現象をアレルギーマーチと言います。最近では、花粉症の増加にともない、花粉症と関連している花粉・食物アレルギーによる果物・野菜アレルギーが増えています。

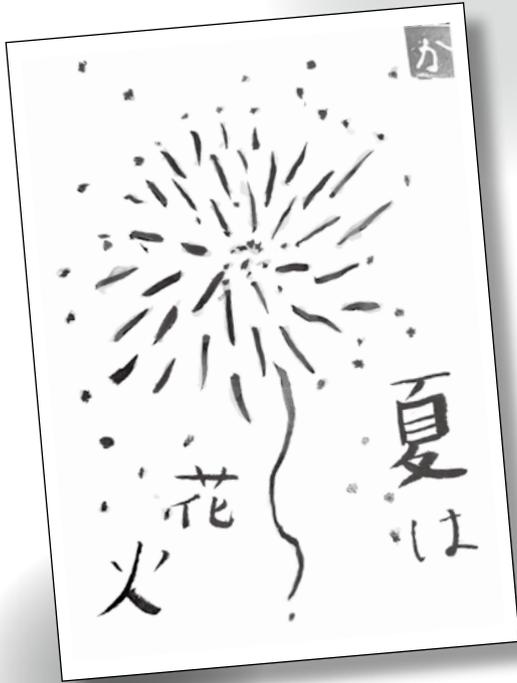
本講演では、増加している食物アレルギーの発症予防、また、重篤な症状を起こすアナフィラキシーの緊急対応について、さらに、重症のアトピー性皮膚炎や気管支喘息の新規治療薬の有用性についても言及します。

最後になりますが、多くの方々のご来場をお待ちしております。

みんなの



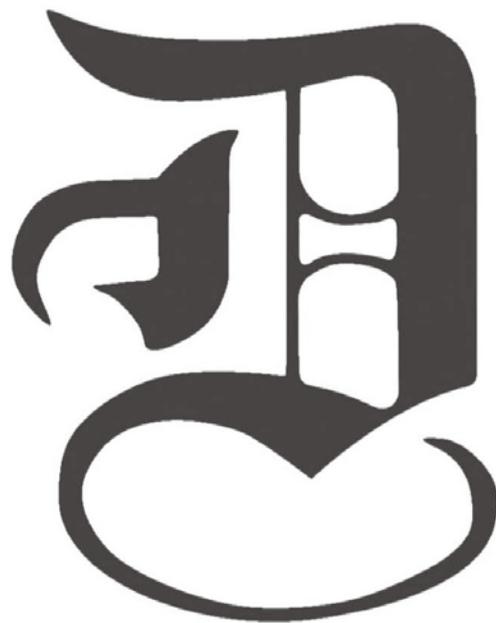
作品



医学展示

テーマ

獨協医科大学の過去・現在・未来について



展示期間：10/7~9

場所：医学部教室棟 2階 A207 教室



看護学部企画 体験会

場所

獨協医科大学 看護学部棟

日時

2023年10月7日(土) 1部 10:00~12:30
(受付開始:9:30~)
2部 14:00~16:30
(受付開始:13:30~)

内容

- マタニティ体験
- 高齢者体験
- 個別相談会
- 展示

※各部、同様の内容となっております。
※完全申し込み制です。

対象

高校生

※高校生1人に対して2人まで同伴可

看護学生と個別で話せる大チャンス！
ユニフォームを着ている学生に声をかけてみて？！
看護学部のこと沢山教えてくれるよ！



看護学部企画HPはこちら！→

看護専門学校展示・企画

・日時 令和5年10月7日(土)・8日(日)

7日(土) 13:00~15:00

8日(日) 10:00~13:00

13:00~15:00

・場所 獨協医科大学看護専門学校1階フロア

・企画内容

1) 手浴(実習室)

2) 身体計測(6番教室)

3) 小児医療展示(5番教室)

4) 学生個別相談(トレーニングルーム)

5) ピアノ生演奏とコーヒー豆・お菓子の販売(音楽室)

～地域で生活する精神に障害を持つ人の社会生活を知ろう～



ご来場お待ちしております！！



※10/8限定

学校・病院紹介



学校紹介

獨協医科大学医学部



獨協医科大学は、伝統の開拓者精神と国際性の基盤に立って、医学・医療の原点にかえり、医学の進歩ならびに社会情勢の変化に即応する医科大学の建設を念願として、1973年に開学した。

1979年には医学部第1回卒業生を送り出し、その後多数の卒業生が母校の大学病院をはじめ、全国各地の病院で活躍している。また、同年4月には、大学院医学研究科が設置され、これまで数多くの医学博士を輩出し、医学研究の第一線で成果をあげている。

学生生活においては、関湊記念ホールのほか、アリーナ、武道場、少人数教育のためのセミナー室が完備されており、キャンパスライフを充実させている。

本学に附属する病院として大学病院(1195床)、埼玉医療センター(928床)及び日光医療センター(199床)があるが、これらの総病床数は全国的にも最大規模と言える。

また、本学は国際交流にも力を入れており、ドイツのミュンスター大学、レーゲンスブルク大学、国立フィリピン大学マニラ校、モンゴル医療科学大学をはじめ、18施設と学術交流協定を結び、学生の海外研修、学術研究等の面で交流を深めている。

本学医学部は、広く社会一般の人々から信頼される「人間性豊かな医師」の育成、並びに診療機能の充実を図り、地域医療への更なる貢献を目指している。

学校紹介

獨協医科大学看護学部

獨協医科大学看護学部は、緑豊かで広大なキャンパスの中に位置しており、社会、時代、地域の要請を受け2007年4月に新設され、17年目を迎えました。2011年には助産学専攻科、続いて2012年には大学院看護学研究科が設置され、開設時は論文コースのみでしたが、2014年には専門看護師コースも開設されました。2023年度からは大学院博士後期課程も開設され、短期間のうちに看護師・保健師・助産師を養成する環境が整備され、現在までに看護学部卒業生1,341名、助産学専攻科修了生106名、大学院看護学研究科修了生72名を輩出し、本県の地域医療のみならず全国に貢献しています。

2024年には学生数を現在の95名から145名に増員する準備を進めています。カリキュラム改定を行い、新たな教育理念として、「社会から信頼され、地域社会及び地域の人々の健康課題の解決並びに保健医療福祉の質と向上に貢献していくために、自己教育力を基盤とし、看護実践力を高めながら看護専門職としてのプロフェッショナリズムを醸成し続けられる自律した看護専門職者を養成する」ことを掲げました。この教育理念を達成するため、これまでの看護師教育課程、保健師教育課程に加えて助産師教育課程、養護教諭一種教育課程を開設する予定です。学生には、4年間の学修の中で、看護師としての専門性に

加え、自らのキャリアデザインの下、保健師、助産師、養護教諭一種の中からダブルライセンスを取得し、看護のプロフェッショナルリズムを醸成し続けられる自律した看護専門職者を目指してほしいと考えています。

また、国際的視野を広めることや語学力を高めるため、海外研修を実施しており、協定校である国立フィリピン大学マニラ校、およびタイ王国チェンマイ大学において現地学生と共に臨床研修するジョイントプログラムを行っています。さらに学生には、人間形成の場として医看合同のクラブも含め多くの課外活動を奨励しています。

課程修了後には、看護学（学士）の学位が授与され、看護師、および保健師の国家試験受資格を全員取得できます。卒業後の進路としては、獨協医科大学の附属3病院をはじめとする医療機関や保健福祉施設などへ就職しています。

さらに、大学院看護学研究科では、より高度な看護実践力の質の高い看護学を探究するとともに、博士後期課程では、看護学の発展に寄与するための看護学教育・研究者の養成も行っています。

様々な選択肢や支援体制が整備された獨協医科大学看護学部では、多くの仲間と一緒に自分が目指したい将来像に向けてチャレンジできます。



学校紹介

獨協医科大学附属看護専門学校

今年度も昨年に引き続きコロナ禍であるにも関わらず、開催できることを大変嬉しく思っています。獨協医科大学の開学に続いて設立された本校について紹介させていただきます。

獨協医科大学附属看護専門学校は、1974年（昭和49）年に大学に働く看護師の育成を目的に創設されました。1994年（平成6）年より男子学生の入学、2001（平成13）年より社会人学生の受け入れが始まり、2023年（令和5）年、創立50周年を迎えます。現在、卒業生数は4444名となり、獨協医科大学が有する3つの病院はもとより、全国各地で保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護師養成学校教員、指導者、管理者として活躍し、地域の保健・医療・福祉に貢献しております。今後も、幅広い方面での活躍を期待しているところです。



本校は、獨協医科大学の建学の精神に則り、患者及びその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される看護師を育成することを教育理念としています。さらに、豊かな人間性を備えた、看護実践能力のある看護師を育成することを教育目標としています。多様化・国際化の進む社会の中で、臨床実践を科学的・論理的に遂行する能力、看護の発展と質の向上に貢献できる基礎的能力を育成します。

看護を学ぶ上で重要な学習である講義・演習・実習は、タブレット端末を活用した電子教科書などICTを積極的に取り入れた恵まれた学習環境のもと行われています。さらに、獨協医科大学創立30周年記念館、アリーナ、図書館などキャンパス内のあらゆる教育施設が共有でき、隣接する看護学部と同じ環境で学ぶことができます。看護に興味・関心をもつ志の高い学生が本校で学び、“患者とその家族、そして地域で暮らす人々のその人らしい生き方を支える看護師”として活躍することを願っています。



学校紹介

獨協医科大学附属看護専門学校 三郷校



獨協医科大学附属看護専門学校三郷校は平成27年4月に埼玉県三郷市に開校し、本年3月に6回生が卒業しました。また、平成31年度からは収容定員を40名から80名に増員し、より多くの第一線で活躍できる看護師の育成に取り組んでいます。

本校では、「豊かな人間性を備えた、看護実践能力のある看護師を育成すること」を教育目的に掲げ、学生自身が目標を明確にし、自分の意志で学習を進めていく「プロジェクト学習」を取り入れ、また、グループワークを積極的に活用することで、多職種との協働意識を持ちながらチーム医療における自分の役割を理解し行動する力を養います。

講義や演習では、教員のみならず本学の医師や看護師をはじめとする経験豊かな医療従事者が携わるため、最新の臨床知識や実践的な技術を学ぶことができます。更に、地域交流の一環として、近隣住民の方々に模擬患者として演習に参加いただき、学生間で行う演習とは違う緊張感のある学習を通じ、技術だけではなく看護師に必要な患者さんに対するマナーや接し方についても学びます。

臨地実習は、本学附属施設の獨協医科大学埼玉医療センターを中心に、本校近隣の訪問看護ステーションや保育所等で行われるため、実習終了後、学校に戻り振り返りや予習を行うことができます。

埼玉医療センターの教育スタッフとは「病院・学校教育連携プロジェクト」を通じ、臨床と学校が連携して卒前（3年）卒後（5年）まで一貫した教育体制の検討・整備を行っており、卒業後は多くの学生が埼玉医療センターへ就職しています。早い段階から近い将来同じ職場で働く医療従事者のもとで学ぶ機会は、学生にとって大きな財産であり、安心して看護師への第一歩を踏み出すことができます。



病院紹介

獨協医科大学病院



獨協医科大学に隣接し、「森の中の病院」と称されるほど豊かな緑に囲まれた大学病院は、医学教育の場として卒前・卒後研修を充実させ、高度な専門的知識と技術を兼ね備える医師を養成するとともに、臨床の全領域にわたる32の診療科を整備し、特定機能病院として高度先端医療を担っております。加えて、常時受入態勢を整えハイリスクの妊産婦や極小の低出生体重児に対して、従来の産科・小児科の枠を超えた高度な周産期医療を提供している「総合周産期母子医療センター」、第3次医療機関として、24時間体制で高度な救急医療を提供している「救命救急センター」、栃木県小児医療構想に基づき、小児の第3次医療機関として、専門医の配置及び高度な医療機器を設置し、小児医療の中核を担うことを目的とした「とちぎ子ども医療センター」、認知症疾患に対する保健医療・福祉サービスの向上を図るための「認知症疾患医療センター」、がんのスクリーニングや治療前の病巣の診断、治療の効果判定、

治療後の再発診断に大変有用なPET/CTカメラを備えた「PETセンター」等、質の高い医療サービスを提供しております。また設備面においても、短時間に広範囲で微細なものを抽出し、病変をいろいろな方向から観察することが容易な最新マルチスライスCT（320列）、三次元的視野の確保及び540度の手首の回転で低侵襲手術に定評のある「ダヴィンチXiサージカルシステム」令和5年4月には、国内初（世界で2機目）の最新型ガンマナイフ・エスプリの導入等、大型先進医療設備の充実により北関東における診断・治療をリードしています。その他、平成22年1月からは栃木県内唯一のドクターヘリの運航が開始となり、これまでに数多くの救急患者の救命率・予後の向上に寄与。平成27年には「医療」と「教育」のより一層の充実を図ることをコンセプトに、本学40周年記念事業の一環として教育医療棟が建設されるなど、日々の発展とともに大学病院としての責務を果たしております。

病院紹介

獨協医科大学埼玉医療センター



首都圏のベッドタウン埼玉県越谷市に位置する獨協医科大学埼玉医療センターは1984（昭和59）年6月に開院しました。当院は、第6次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画において200床増床が承認され、928床を有する一般病床では埼玉県最大規模の病院となりました。

診療面では28の診療科を始め、救命救急センター、周産期母子医療センター、総合がん診療センターなど地域のニーズに則した機能の充実とともに、遺伝カウンセリングセンター、リプロダクションセンターなどの新分野の診療にも積極的に取り組んでおります。

新棟の手術エリアには、手術支援ロボット「DaVinci Xi」並びに「hinotori™」やハイブリット手術室、自走式CTが併設された手術室など22室を配置し、高度で安全な医療を提供するとともに、埼玉県東部医療圏の中核病院として地域医療の一端を担っています。

越谷駅東口には「附属越谷クリニック」を

有し、日帰り人間ドック、人工透析、渡航外来を行っています。人間ドックは基本検査に加え、オプション検査として脳ドック、動脈硬化検査、骨密度検査のほか、女性向けにマンモグラフィ検査や子宮がん検診などを設定しています。渡航外来（トラベルクリニック）では、安全な海外出張や旅行ができるように渡航先の感染情報、予防接種、帰国後の健康相談等を行っています。

教育面においては、獨協医科大学の臨床部門に属し3・4学年の講義と5学年の臨床実習、6学年のACC及び集中講義を一部分担するとともに、本学卒業後の臨床教育を担当しています。なお、大学院医学研究科の専攻分野を設置しており、社会人大学院生として診療しながら学位の取得も可能です。

教育病院として“病気を診るのではなく、病気になった人間を診る”ことを念頭においた医療を実践でき、最新の医療に対応できる質の高い医療人を育成しているのが特徴です。

病院紹介

獨協医科大学日光医療センター



獨協医科大学日光医療センターは、大学病院、埼玉医療センターに続く本学3番目の医療機関として2006(平成18)年4月1日に日光市高徳に誕生しました。この度、同市森友地区に「安全・安心を届ける基幹病院」をコンセプトとして新築移転を完了し、2023(令和5)年1月1日に新病院がオープンしました。眼科、救急・総合診療科を新設し21診療科となり、新設した高度治療室(HCU)4床を含む病床数199床を備えています。これまで通り、国際観光都市日光の基幹病院として急性期地域医療からリハビリテーションまで幅広い医療を提供するとともに、指定管理者制度による日光市立三依診療所の運営を継続し、へき地医療にも貢献します。

新病院は地上4階で、1階は外来、救急部門やリハビリテーション、内視鏡、放射線部門を配置し、来院者を出迎える日光モールは木目調素材、大谷石など地域の素材を用いたデザインとしています。2階には手術、HCU、透析部門や生理機能検査、健診部門等を設置し、3階、4階はホール型レイアウトの病棟フロアとしました。またスマート化を推進し、スマート・ホスピタル構想に基づくナースコール連携システムやスマートベッドシステ

ムの導入により、安定かつ効率的に医療を提供できる体制を整えました。

西側の研修棟には、共同実験室、ラーニング・コモンズを設置し、教職員・学生が研究や学習に集中できる環境を整備しました。

敷地内には、救急部門に隣接してヘリポートを設置し、救急患者への迅速な対応、災害拠点病院としての診療継続を可能とし、敷地内駐車場のカーポート型太陽光パネルで病院使用電力の一部を賄います。また、教職員の福利厚生および研修生受け入れのため、学生・教職員宿舍「ヴィラージュ日光」個室84室(鉄骨造3階建2棟)を建設しました。

新病院においても地域医療支援病院として、地域医療連携推進法人日光ヘルスケアネットに参画して安全・安心な医療を提供してまいります。



広告掲載会社（掲載ページ）一覧

ア行

・あおば医院	34
・粟津造園	36
・石井外科医院	39
・石崎眼科	38
・石田消化器科・内科クリニック	38
・井上総合印刷	43
・宇都宮腎・内科皮膚科クリニック	33
・宇都宮東武ホテルグランデ	39
・宇都宮ヤクルト販売	42
・エニタイム、小山ラウンジレンジ	37
・大垣歯科医院	32
・大橋内科クリニック	41
・奥田クリニック	38

カ行

・かざま	42
・海舟	42
・柏木耳鼻いんこう科	42
・カレーハウス CoCo 壱番屋	42
・関電工栃木支店	35
・グリーンクリニック	41
・呉クリニック	39
・小嶋内科	38

サ行

・サントリービバレッジ	35
・篠	40
・柴病院	38
・しろやま眼科	38
・セブンイレブン壬生安塚店	42

タ行

・タイヤ館おもちゃのまち店	40
・高橋とおるクリニック	42
・田代武道具店	42
・東武ビルマネジメント	43
・トキワ屋	39
・都丸整形外科	41
・栃木トヨタ壬生店	42
・栃木リウマチ科クリニック	41
・獨協のタリーズ	40
・友井皮フ科クリニック	31
・同窓会神奈川支部	41
・同窓会埼玉支部	41
・同窓会東京支部	41
・同窓会宮城支部	42

ハ行

・廣川書店	39
・福田記念病院	32
・ふじた	40
・福井セントラルクリニック	43
・ほかほか弁当	42
・ポン吉 ポン太	36

マ行

・マロニエ写真館	40
・壬生自動車学校	40
・メッドトラスト ESG	42
・茂呂歯科医院	31

ヤ行

・やたがいクリニック	39
・八千代病院	41
・大和（中華料理）	37

各広告主様

誠に申し訳ございません。

「株式会社」等の社名の一部を省略させていただきます。
御容赦下さい。

共催団体

獨協医科大学看護学部学友会

獨協医科大学附属看護専門学校杏友会

協賛団体

獨協医科大学同窓会

獨協医科大学桜杏会（父母会）

編集後記

パンフレットをご覧いただきありがとうございます。

分からないことだらけの中、先輩や同期、後輩に沢山手伝ってもらいなんとかパンフレットを完成させることができました。

新型コロナウイルスの流行により、中止や規模を縮小しての開催が続いておりましたが、今年は例年通り開催することができました。是非、第50回獨医祭を楽しんでください！

ありがとうございました。

(編集局長 内海莉緒)

獨医祭に来てくださり、ありがとうございます。

パンフレットの表紙やイラストは、子ども達と美術部の方に書いていただきました。

色々なページに載っているのので、是非探してみてください！

(島田優果)







株式会社 獨協メディカルサービス

Dokkyo Medical Service Co.,Ltd.



株式会社

獨協メディカルサービスは

獨協医科大学からの

信頼を原点として、

獨協医科大学の運営を

サポートします。

- 医薬品・試薬品等の卸売販売業務
- 医療機器等の販売及び賃貸業務
- 医療機器等の保守修理業務
- 医療関連業務等の請負業務
- 駐車場管理・運営業務
- コンビニエンスストア・売店運営業務
- 自動販売機管理・運営業務
- 保険（損害・生保）代理店業務
- その他

〈本 社〉

〒321-0233 栃木県下都賀郡壬生町大字助谷 2805-1

TEL 0282-86-5520 FAX 0282-86-5560

ホームページ <http://www.dokkyoms.co.jp/>

〈栃木支店〉

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880（獨協医科大学病院内）

TEL 0282-86-7600 FAX 0282-21-8722

〈日光営業所〉

〒321-1298 栃木県日光市森友145-1（獨協医科大学日光医療センター内）

TEL 0288-25-3555 FAX 0288-25-3554

〈埼玉支店〉

〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50（獨協医科大学埼玉医療センター内）

TEL 048-965-5001 FAX 048-965-5800